

# 積雪ネオロータフェンス門扉 **NER-AR-G型**

# 組立説明書

## ①門柱の位置を決め、基礎を設置します

・柱間隔は柱芯々 **片開 1035mm / 両開 2000mm**となります。

※九州地区は **片開 1000mm**となります。

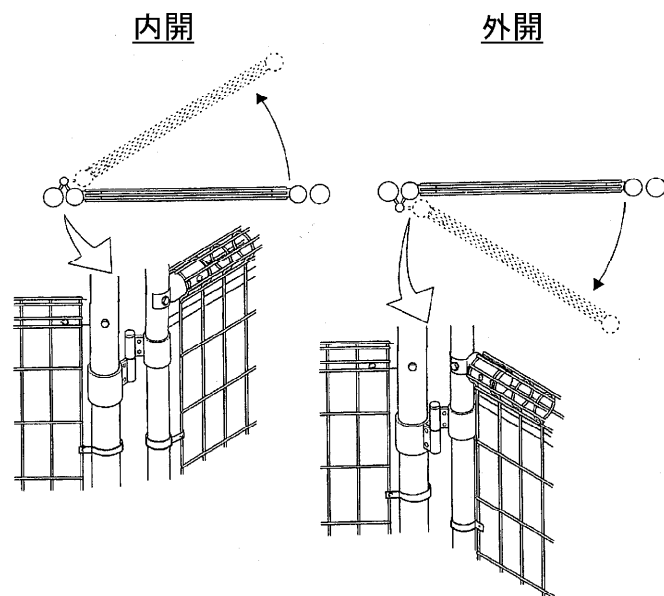
基礎寸法は以下の通りです。

高さ	基礎寸法(mm) G1 x G2 x G3	埋め込み深さ(mm)
H900/H1100	300 x 300 x 600	200
H1300	300 x 300 x 600	250
H1600	300 x 300 x 700	250
H1900/H2100	300 x 300 x 700	300

## ②門柱を建てます

- ・片開の場合は丁番を取付ける柱(吊柱)を決めます。
- ・両開の場合は両方の柱が吊柱となります。

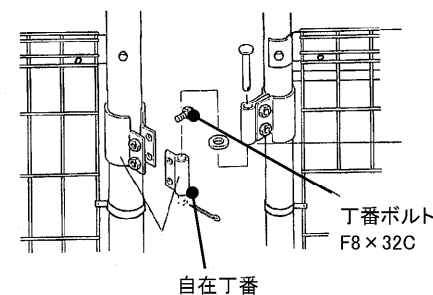
## ③門扉の開閉方向(外開・内開)を決めます



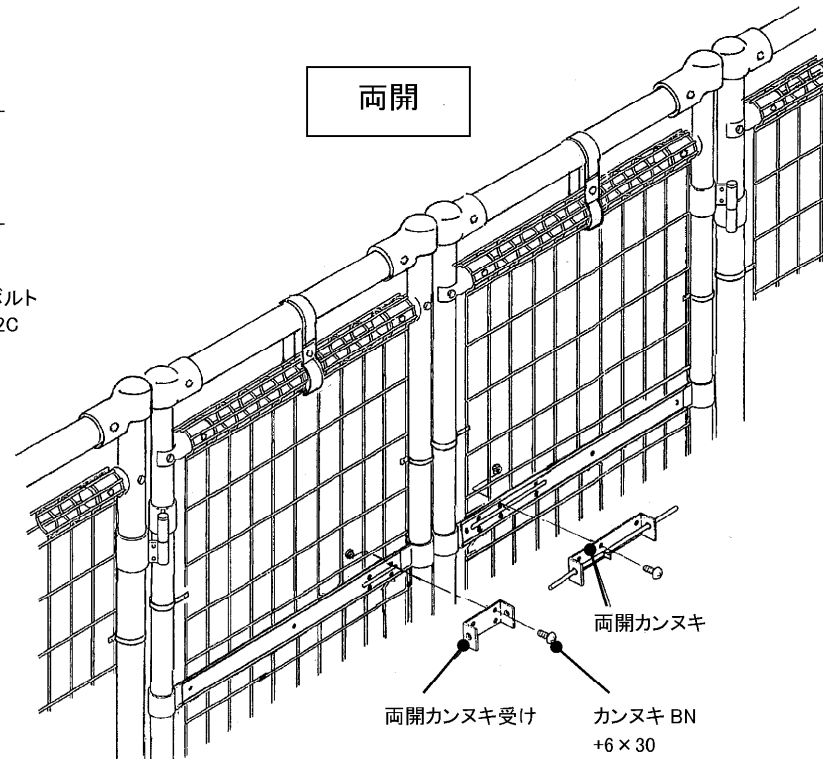
・内開・外開は上図の様に丁番の方向で変わります。

## ④門柱の位置を決め、基礎を設置します

- ・丁番を組み立てて門柱と門扉に取付けます。
- ・丁番の取付位置は下図をご参照下さい

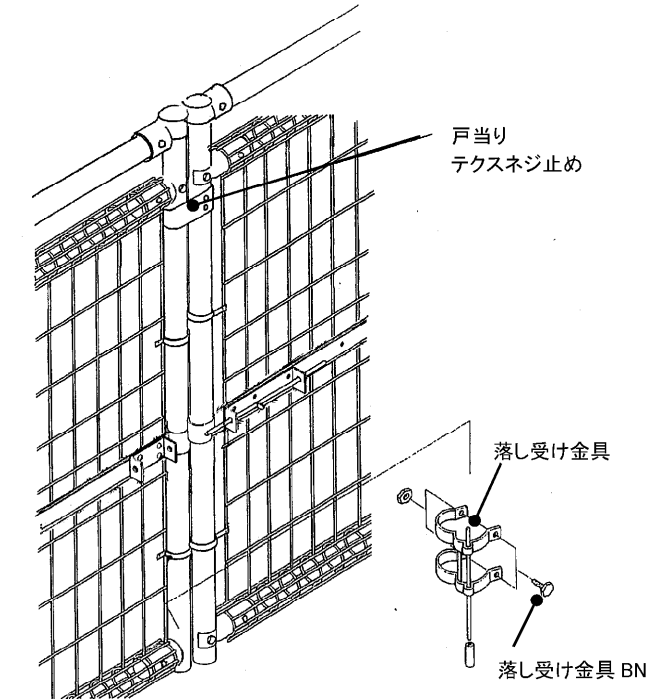


## ⑤カンヌキを取付けます



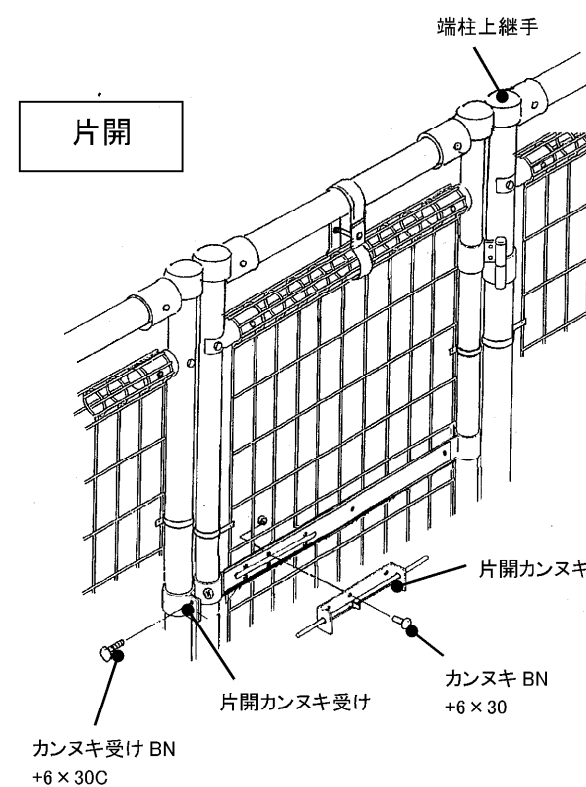
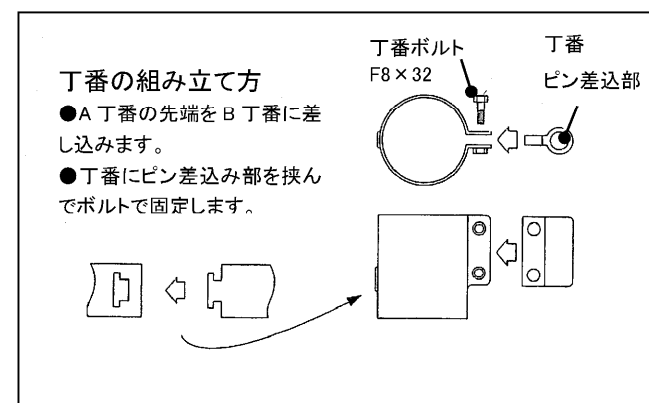
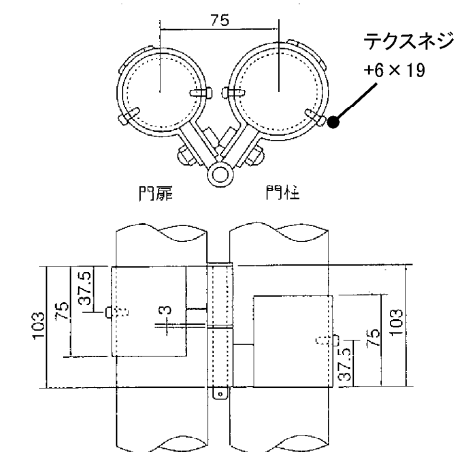
## ⑥戸当りと落とし金具をとりつけます

- ・門扉に戸当りの取付孔を開けて、テクスネジで止めて下さい
- ・落とし金具は両開の場合に取付けます。



## ⑦丁番を回り止めビスで止めます

- ・下図を参考に丁番のφ5.5の孔にテクスネジを電動ドライバーで止めます。



### 作業上の注意点

- 工事施工後、門柱に取り付いているビニール袋入りの「警告、注意シール」を門扉に貼り付けて下さい。貼り付け位置は「使用上のご注意」に表示しています。又「使用上のご注意」は門扉の管理者にお渡しください。



## 注意

## ●施工注意点

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

## ●取扱い注意点

- ①門扉施工完了後、工事店の方がお渡しする「使用上のご注意」に記載された事項を使用者に徹底するようお願いいたします。